

都市計画の案の理由書

1 種類・名称

東京都市計画道路 都市高速道路第1号線

2 理由

都市高速道路第1号線は、神奈川県境の大田区羽田三丁目を起点とし、品川区、港区、中央区及び千代田区を経由して台東区北上野一丁目に至る延長約21.9キロメートルの路線である。

本路線のうち、海老取運河付近の海底を通る羽田トンネルは、開通から60年以上経過し、経年劣化が進行するとともに、漏水に伴う塩害により、構造物に多数の損傷が発生している。今後も都市高速道路の機能を維持していくためには、早期の老朽化対策が不可欠である。

また、羽田トンネルは、一日約9万台もの自動車を利用し、特に都心方面に向かう上り線では交通が集中する上、速度低下が生じやすい上り坂の影響により渋滞が発生している。

本計画は、羽田トンネルの老朽化対策を行うとともに、これに併せて必要となる迂回路を上り線（高架3車線）、既存の羽田トンネルを下り線（2車線）として活用し交通の円滑化を図るため、都市高速道路第1号線の都市計画の一部区域の変更及び一部車線の数を変更するものである。